

祝 北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産登録へ

神戸新聞

り豊かな森や海産物に恵まれ、成熟した社会が1万年以上続いた縄文遺跡群¹は、人類史上まれな農耕以前の定住生活や、豊成する17遺跡の年代は紀元前1万3000年〜同4000年と幅ることができる。²

(1面参照)

北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産へ

農耕以前豊かな定住生活

成熟社会 1 万年以上継続

かつて字教育など
は、縄文時代が狩猟
中心に食料を求めて、移動
しながら暮らしたと教え
てきた。その常識を覆したの
が青森市の三内丸山遺跡だ。
1999年から始まっ
た発掘調査では、縄文前期
から中期にかけて約170
年間にわたって、縄文文化
が広がっていた。
高さ約15mの迫力ある大
型環状柱建物や、500m²の
土に上あつたみられる居住
の部屋が復元され、出土
した土器や土偶なども
、縄文時代の豊饒さを伝
えている。

墓や祈いの場も、縄文文
化をよりよく上で欠かすな
い。秋田・雄物川の一大墳
環状列石は、石を直
径約400gの環状に並べ
た2つの環が並ぶ。葬送
や祭祀の場を築きと考え
られ、祈いのための道具も
ある。

数多く出土した。
江戸貝家 一北海道発掘調査報告書

町では、道内で捕れたイ
イシシの歯が貝殻に見かへ
ており、大交易が盛んであ
っていたことがわかる。

遺跡群は、津軽海峡を挟
んで、同一の文化圏を形成
していたといわれ、各地出
土した動物の骨で作られた
狩猟・漁業の道具やクワ
サリ、樹皮で編まれた靴や
シエツなどは、貝を全
ての暮らしに利用し、縄文
人の暮らしをよりよく示し
ていたことがわかる。



北海道洞爺湖町の入江貝塚 (いずれも
JOMON ARCHIVES提供)



2021年(令和3年)5月26日(水曜日) 北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産へ

イコモスが決定した夜日本は祝いのスーパームーン

月が地球の影にすっぽりと入る皆既月食が26日夜、3年ぶりに日本で観測された。多くの地域で曇りや雨だったが、月が地球に近づいて大きく見える「スーパームーン」という状態と重なり、晴れた場所では午後8時9分から約20分間、春の夜の珍しい天体ショーとなった。

皆既月食は、太陽からわずかに届く光に照らされ、月が真っ暗にはならず赤黒い「赤銅色」に見えるのが特徴。国立天文台によると、月食の始まりは午後6時44分、一部地域では既に欠けた状態で月が昇った。

次に日本で皆既月食が見られるのは2022年11月8日となる。前回は18年7月に観測された。日本でスーパームーンと重なったのは1997年9月以来。

皆既月食は太陽、地球、月が一直線に並んで起きる。

兵庫では厚い雲、ため息

姫路市山野井町の男山配水池公園では、東南東に位置する姫路城と皆既月食を写真や映像に収めようと、日没後から約40人がカメラを手に集まった。だが、月は厚い雲に覆われ姿は見え。大半は皆既食が終わる午後8時28分まで待ち続けたが、結局「赤い月」を見ることはかなわず、小さなため息があちこちで漏れていた。



皆既月食、3年ぶり観測
「スーパームーン」と重なる

青森県八戸市で見られた
皆既月食=26日午後8時19分

5月28日(金曜日) 神戸新聞朝刊「正平調」はこんなコラムで世界遺産決定を祝った



2021年(令和3年)
5月28日
金曜日

正平調

人類は進歩なんかしていないと芸術家、岡本太郎さんの語録にある。「縄文土器の凄さを見る。ラスコーの壁画だって、ツタンカーメンだって、いまの人類にあんなもの作れるか」◆言われてみれば、縄文土器には不思議な形のものが多いし、確かに前衛的である。岡本さんはそこに狩猟民ならではの躍動する感性を見たのだろう。その人が手がけ、大阪万博のシンボルとなった「太陽の塔」もどこか縄文芸術の香りをまどっている◆いま再びの「縄文ブーム」を予感させるうれしいニュースが届いた。青森市の三内丸山遺跡などの「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されるという◆遺跡には、定住の痕跡があった。土器や土偶、アクセサリーも多く出土している。縄文人は獲物を追ってさすらっていたというこれまでの定説を覆し、世界の先史でもまれにみる豊かな文化を育んでいたらしい◆三内丸山遺跡から発見されたという樹皮で編まれた「ボシエット」の写真を、きのうの本紙で見た。腰にぶらさげ、クルミやクリを拾っていたのか、おしゃれな縄文人の暮らしが目に浮かんでくるようで心躍る◆縄文文化に衝撃を受けて語った岡本さんの言葉を、まねしてつぶやいてみる。

「こんな日本があったのか」

2021.5.28



皆既月食、3年ぶり観測 「スーパームーン」と重なる

青森県八戸市で見られた
皆既月食=26日午後8時19分

月が地球の影にすっぽりと入る皆既月食が26日夜、3年ぶりに日本で観測された。多くの地域で曇りや雨だったが、月が地球に近づいて大きく見える「スーパームーン」という状態と重なり、晴れた場所では午後8時9分から約20分間、春の夜の珍しい天体ショーとなった。

皆既月食は、太陽からわずかに届く光に照らされ、月が真っ暗にはならず赤黒い「赤銅色」に見えるのが特徴。国立天文台によると、月食の始まりは午後6時44分、一部地域では既に欠けた状態で月が昇った。

次に日本で皆既月食が見られるのは2022年11月8日となる。前回は18年7月に観測された。日本でスーパームーンと重なったのは1997年9月以来。

皆既月食は太陽、地球、月が一直線に並んで起きる。

兵庫では厚い雲、ため息

姫路市山野井町の男山配水池公園では、東南東に位置する姫路城と皆既月食を写真や映像に収めようと、日没後から約40人がカメラを手に集まった。だが、月は厚い雲に覆われ姿は見え。大半は皆既食が終わる午後8時28分まで待ち続けたが、結局「赤い月」を見ることはかなわず、小さなため息があちこちで漏れていた。



三内丸山縄文発信の会「縄文ファイル」 4月号 2011.4.1.
東日本大震災お見舞いと 北の縄文 世界遺産登録への応援メッセージ
「神戸から 日本人の心のふるさとへ」

By 三内丸山縄文発信の会 会員 兵庫県神戸市 Mutsu Nakanishi

東北関東大震災の未曾有の災害に遭遇された皆様にお見舞い申し上げます。
 かつて歩いた縄文のふるさとでの大地震に気が重くありません。
 縄文文化を育んだこのフィールドが、被災された皆様のご心を癒し、
 一日も早く元氣になれますことをお祈りします。

「日本人のここを映すストーンサークル」「戦いを知らない心やさしき縄文人」
 に憑かれて10数年、縄文のフィールドに立つのが家みたいな縄文 walk です。
 縄文人は自然の恵みを受けながら素晴らしい自然の景色の中で縄文の文化を育んだ。
 その景色を見るだけでも素晴らしい。
 この縄文ワールドを訪すのに、私は「縄文探り」という言葉をよく使う。
 一歩足を踏み入れれば、そこは素晴らしい自然の景色と心の安らぐ縄文の世界。
 高台に座って、ほっと一息、周りを眺める「縄文がえり」。私一番の縄文の楽しみです。

六本柱はどうやって引っ張ってきたのだろうか？ 環状配石墓と墓の道に今にも
 声が聞こえてきそうな土俵。
 ここでどんな祭りが行われたのだろうか？ 黒・どんぐりの敷席と酒造りととは？
 手に持った稲穂の玉のひやりとした感触と黒曜石 そして漆。
 この集落交易のルートは見晴らす森を越えて、どこまで広がっているのだろうか？ などなど・・・。
 また、一般の人たちに親近して「墓の道の意味を考えている」と道標のジオラマをじっと眺める字々さんの姿が強く印象に残っています。

発掘された遺物・遺構を前に、活き活きと語られる「縄文の暮らしと知恵」に眼を輝かせ、頭をひねり、質問し、みんなで考えた「三内丸山縄文人の生活・縄文ワールド」。市民・訪問者の参加・体験型道標が三内丸山の熱気・魅力。
 そんな道標作りへの参加が認められての文化庁長官表彰。おめでとう。
 世界遺産登録運動のさらなるエネルギーになるでしょう。

でも、発掘が進み、道標の解明・整備が進むにつれ、そんな生の話が聞ける機会もなくなってきました。
 時道標や収蔵庫展示室などが整備され、道標の見学も道標や遺物の説明板が中心。
 「縄文人の生活」を思い浮かべての語らうの熱気が薄らいで、「ちょっと距離感が出てきたなあ」と感じています。
 かつて、自分がそうであったように、眼前に広がる縄文の素晴らしいフィールドの中で、縄文人たちの生活や知恵そして不思議が語り合え、自分とのつながりが体験できる場であってほしい。
 北海道・東北の縄文道標群が『心優しき縄文人』『日本のここを映すストーンサークル』を体験できる。そんな身近な故郷として世界遺産になってほしい。そんな夢を描いています。

私の住む関西では名の知れた縄文道標はそれほど多くないのですが、ここでも素晴らしい自然の景色と心安らぐ場所が用意されています。関西で開催された「縄文展」に縁を興した同時の人のたのしみや縄文勉強会が「関西に縄文の灯を」ともう6年近く続いています。北海道・東北の縄文の世界遺産登録が さらに「現代の縄文道標」へと全国に広がることをも期しています。

1911年3月 三内丸山縄文の会の「縄文ファイル」4月号に東日本大震災のお見舞いと日本の縄文を世界遺産にと応援メッセージを送って10年。本当にうれしい北海道・東北の縄文遺跡群の世界遺産登録決定の報。おめでとう。

でも 今また日本はコロナ禍の苦難の中にいる。
心優しき縄文人
日本の心のふるさと縄文
 みんなでスクラム組んで
 この難局を乗り越えましょう

◎ 2011.3.19. 三内丸山縄文の会「縄文」に送ったメッセージ
 東日本大震災お見舞いと
 北の縄文 世界遺産登録応援メッセージ
 ■「神戸から日本人の心のふるさとへ」
 2011.3.19.

<https://www.infokkna.com/ironroad/prezen/201104sekaiisan.pdf>

■ 縄文の心を映すストーンサークル
<https://www.infokkna.com/ironroad/prezen/2008jyomon/jyomonslide.htm>